

持続化・家賃支援給付金 申請会 国保・介護保険減免 など 開催中！



新型コロナウイルス感染防止のため、飛沫対策パーティションも設置して申請会を開催しています。

一人も取り残さない声掛けを

新型コロナウイルスの感染再拡大で中小業者の営業と暮らしの困難が続いています。奈良民商は「二人も取り残さない声掛けを強めよう」と、支援策の活用をよびかけ、申請会を開催しています。8月には10回開催し、44人が参加。13人が持続化給付金、23人が家賃支援給付金、9人が国保料減免、4人が介護保険料減免を申請しました。8月24日現在

9月には7日（月）から11日（金）、午後1時半～3時、3時半～5時の日程で開催の予定です。申請のことは何でも民商にご相談下さい。困っている人を民商にご紹介下さい。

売上が50%以上減少し

スマホで家賃支援金を申請

Sさん（水道工事） 佐保支部は7月の売上が前年比50%以上減少したため、8月25日、申請会に参加しました。

申請にあたって、確定申告書、売上台帳、資材置場の賃貸契約書、昨年10月の賃料変更時に交わした覚書、賃料を毎月支払っている預金通帳などを用意しました。Sさんは必要書類を写真に撮り、自らのスマートフォンで申請しました。

Sさんには賃料の3分の2の6ヶ月分、17万5998円が支給される予定です。Sさんは「大いに手間がかかった」と話していました。

猛暑に負けず行動

家賃支援・国保減免は民商へ チラシ900枚を配布

奈良民商は8月23日、統一行動にとりくみ、浜中達也会長（製菓） 大安寺支部、嶋守秀利（拡大推進委員長） 印刷関係（南支部）、三輪昭三（共済会会長） 大工（済美南支部）、宇野達雄（常任理事） 縫製（学園支部）ら9人が参加しました。はじめに嶋守拡大推進委員長が「猛暑の中の行動です。体にかかる一息をがんばりましょう」と話しました。



夜降った雨で涼しい朝でしたが、日が昇ると33度の猛暑に。いつもの法被は着用せず、短時間の行動としました。

「う」とあいさつ。大宮地域を中心に、家賃支援と国保減免を知らせるチラシ900枚を配布しました。暑い中「苦労様です」（菓子店）、読ませていただきます」（美容室）などの声が寄せられ、民商への信頼を実感する行動となりました。最後に浜中会長は、まだまだ支援制度や民商を知らない人がいます。こうした行動を続けていきましょう」と話し、参加者たちは会長が用意した水ようかんに舌鼓を打ちました。

奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会
奈良市大森西町13-16
電話0742-33-7266
FAX 0742-34-5826
HP naramsyo.jp

記帳会

【日時】
9月16日（水）
13:30
【持ち物】
領収書・帳簿
筆記用具・電卓



絵手紙教室

絵手紙教室は、新型コロナウイルスの感染予防と、みなさんの健康を守るためにしばらくお休みします。

街の『憩いの場』として35年



喫茶 おかだ

岡田美恵子さん

「コーヒーの香りも楽しんでほしい」とサイフォンで入れています。

北永井町 明治小学校の運動場の南側で、喫茶おかだ」を営む岡田美恵子さん（南支部）を訪ねました。

「コーヒーが好きで開業 3ヶ月もつかな」が35年継続

岡田さんがお店を始めたのは1985年、37歳のときでした。自動車部品販売業を営む夫が建てた事務所兼倉庫の1階が空いたことがきっかけでした。

「コーヒーをたてて飲むことが好きで、親せきの喫茶店のお手伝いをしていた経験が生かせる」と思い開業しました。岡田さんは、はじめは、周りの人から3ヶ月もつかな、と言われていたのに、35年も続いているのよ」と話します。

サイフォンで香りを立てる ミックスジュースも人気

お客さんに「喫茶店にいるんだな」と感じてもらうため、コーヒーはサイフォンで入れる岡田さん。ドリップより香りが立つのよ」と話します。常連のお客さんは「ミックスジュースもおいしいよ」と話しています。

「閉めないで」の 常連さんの声にこたえて営業

ここ数年、夫の介護で、お店を休むことが多くなり、一時は閉店を考えたこともありましたが、



絵画教室に通うお客さんの作品を展示しています。

が、憩いの場がなくなる。閉めないで」など、二日2回来るから続けて」など、三十数年来通う常連さんたちの声にこたえて、お店を続けています。

夫の妹の紹介で入会

民商会員歴も35年

開業1年目、つけていたノートをもとに市役所に確定申告を行いましたが、不安を感じ、夫の妹で会員の梅野往子さん（自動車整備Ⅱ 南支部）に相談。民商がいいよ」と紹介され、1985年2月に奈良民商に入会。以来、会員歴は35年となりました。

確定申告期は 申告書書き込み班会の会場に

確定申告期には、喫茶おかだ」は班会の会場になります。集まった会員たちは、商売の近況や世間話に花を咲かせながら、確定申告書を記入。終わると、コーヒーがふるまわれ、喜ばれています。

民商は学ぶところ 署名や仲間増やしでも奮闘

岡田さんは、民商で帳簿のつけ方を覚えた。申告所得で国保料や住民税が決まることも知りました。民商は、生活に役立つことを学ぶところ。わからないことがあれば、すぐに尋ねるの」と話し、民商に全幅の信頼を寄せる岡田さん。

お客さんに協力を訴えるなど、消費税減税や核兵器廃絶の署名運動にもとりくんでいます。

民商の会員さんがもっと増えたらいいね」と仲間増やしでも前向きです。

